



－3つの力を活かす－

戦略1 人の力を活かす

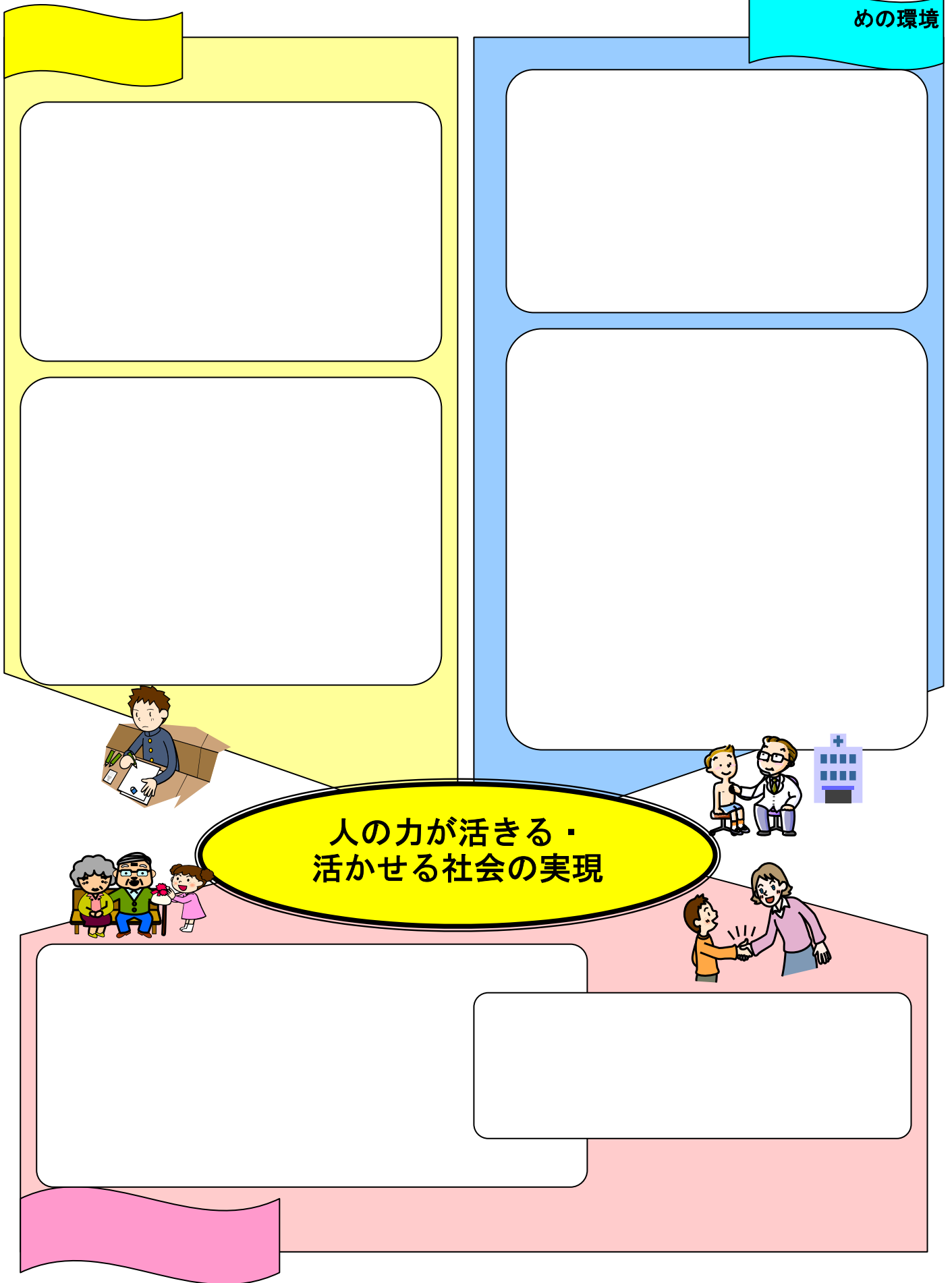
戦略2 自然の力を活かす

戦略3 地と知の力を活かす

※ **新** は新規事業を示す
(資-〇〇)は資料3-資料編の番号を示す

人の力を活かす

めの環境



1 社会で子育てを支える

		5,620	
	中小企業の次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定を支援するため、アドバイザーの設置やワーク・ライフ・バランス取組企業の登録・紹介を行うとともに、経済団体等を含めた推進体制を整備する。		
		29,457	
	母子家庭の母や出産、子育て等を理由に離職した女性が再就職を目指す場合の支援策の一つとして、民間教育訓練機関等を活用して訓練を実施する。		
		285,414	
	子育て中の親子が気軽につどい、相互交流を図るとともに、子育て相談・支援を実施するための経費に対し市町へ助成		
□	” ”	3,000	(
	子育て中の親が抱く子育ての負担感や不安感の緩和を図り、社会全体で持続的に子育てを支える仕組みづくりの実証を行う。		
		444,095	
	専用室、小学校の余裕教室等を利用して、昼間家庭に保護者がいない子どもの健全育成を図る放課後児童クラブの運営費に対し市町へ助成する。		
		855,434	
	小学校就学前の乳幼児を養育している者に対し、乳幼児にかかる医療費の一部を助成することにより、乳幼児の保健水準の向上と健やかな育成を図るとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。		
		3,133	
	団塊の世代をはじめとして、豊富な知識や経験を持つ地域の様々な人々や企業、団体が学校で活躍できる仕組みづくりを行う。		
□		4,500	(
	若年層、とりわけ高校生を対象として、職業人やNPO等との出会いの場づくりを進める体制の充実を図る。		

2 力を発揮できる多様で柔軟な活躍の場をつくる

		5,000	
	退職シニアが居場所づくりや仲間づくりなどを通じて、地域に密着した活動を展開することにより地域を支える仕組みづくりを推進する市町事業に助成する。		
		12,319	
	一般勤労が困難な障害者の就労の場の確保と職場定着、およびこれに伴う日常生活上の支援などを、福祉圏を単位として福祉部門と労働部門、県と市町が連携して継続的に実施する。	13,891	

3 子どもの多様な学びの場をつくる

		1,621,857	
	学習や生活面での学校生活の自主的、自立的精神の基礎的素養や、低学年児童への指導性の素地を築くため、35人学級編制と複数指導の選択制を実施する。		
		1,155,329	
	学校の実情に応じ、特定の教科で少人数学習集団を編制する。		

スクールカウンセラー等活用事業

84,646

生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識を有するスクールカウンセラーを中学および高校に配置する。

小学校心のオアシス相談員の配置

9,450

児童が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる心のオアシス相談員を小学校へ配置する。



8,500

小・中・高等学校に専門家等による特別支援教育巡回チームを派遣し、学校現場での発達障害のある児童生徒への指導力の向上を図る。

95,261

小学4年生を対象に森林体験を通して森林への理解を深め、人と豊かに関わる力を育む森林環境学習を実施する。



12,650

農業体験や調理体験を通じて、農業への関心を高めるとともに、食べ物の大切さを学ぶ。

293,616

琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った宿泊体験型の教育を展開する。また、「うみのこ」の将来の新船建造を目的とした基金を設置する。

12,300

子どもが職業観・勤労観をはぐくみ、自らの将来の生き方を見い出していく力を養うため、中学2年生に対し5日間の職場体験を実施する。



9,800

子どもたちの文化芸術体験のサポートや文化ボランティアの育成等を行うため、「(仮称)しが子ども文化芸術推進委員会」に対して助成する。



(

6,200

琵琶湖・水に関わる歴史文化を調査により把握し、全国に発信できる資産として位置づけ、広く周知するとともに、活用事業の展開により地域資産としての価値の定着化を図る。

(

3,018,199

私立学校の経営の健全化等を図るため、学校法人の人件費などの経常的経費に対し助成する。

(

113,162

生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、保護者の所得に応じて授業料を減免した場合に助成する。

(

4 健康でいきいきと暮らせる仕組みをつくる

1,908

健康や食生活に関心を持ち、「何を」「どれだけ」「どのように」食べたらよいかを具体的に知り、生活習慣として実行できるよう、乳幼児期からの食育を推進する。

39,487

糖尿病専門相談員養成事業やがん診療連携拠点病院機能強化事業等を実施する。

410,650

平成20年に開催する第21回全国スポーツ・レクリエーション祭の準備、開催を進めるため、必要な経費の一部を負担する。

(



26,000

妊婦自身の健康管理と周囲の理解を促す啓発、緊急搬送にかかるコーディネーターの設置、医療機関の連携システムの検討などを実施する。

(

		96,906	
	休日夜間における小児救急医療体制の確保や小児救急電話相談事業、保護者を対象とした啓発事業等を実施する。		
		201,209	
	健康的な妊娠の支援、安心できる出産の支援を柱にした総合的な母子保健医療対策を推進し、母子保健水準の向上を図る。		
		144,018	
	地域医療対策の推進、医師確保システムの構築、魅力ある病院づくり、女性医師の働きやすい環境づくり、積極的な医師の養成、働く意欲を引き出す職場環境整備、臨床研修医の受け入れ等を行う。		
<input type="checkbox"/>		8,666	(
	医師確保が困難な産婦人科対策に取り組むため、モデル的に県立病院に新たに医師養成機能や医師派遣・研修機能を整備する。		
		116,859	
	障害者の地域ケアや生活の場(居住空間)、社会参加の場の機能を充実・強化するため、地域ケアシステムの推進や地域生活支援、芸術・文化活動の促進に関する事業を実施する。		
<input type="checkbox"/>		9,848,199	
	平成20年4月からスタートする後期高齢者医療制度について、医療給付費や保険財政の安定運営のための経費等を県費で負担する。		
		33,000	
	老朽駅舎の改築に伴う駅自由通路の整備や駅自由通路、駅施設へのエスカレーター、エレベーター等バリアフリー化設備の整備について、市町への補助を行う。		
		393,000	
	新設および改築する歩道において、ユニバーサルデザインの観点から段差のない歩道整備を実施する。		

5 地域での多様な支え合いの輪を広げる

<input type="checkbox"/>		500	
	県職員が市町の職員や地域住民と”ともに”考え、きめ細やかな支援ができるよう、県職員によるチームを編成し、地域に派遣する。		
<input type="checkbox"/>		3,000	(
	多種多様な地域に密着した横断的なボランティア中心の活動を充実させるため、防犯アドバイザー等のコーディネーターを活動拠点に派遣して、現場レベルで指導・調整・支援し、活動団体のスキルアップを図り地域力を向上させる。		
		316,259	(
	農村の土地、水、伝統文化、環境、そして人づくりを次代につなぐため、豊かな自然環境や農地・農業用水等の保全を地域の協働活動として推進する。		
<input type="checkbox"/>		1,150	(
	NPO等からの現場視点による協働提案に基づき、ともに公共政策を創り上げていく協働提案制度の創設に向けた制度内容の検討等を行う。		
<input type="checkbox"/>		4,000	(
	地域の特色ある伝統行事や生活文化を映像により発信することで、魅力的なまちづくりを推進するため、(仮称)e-まち映像づくり連携協議会が実施する住民ディレクター養成講座等の活動への助成を行う。		
		172,400	(
	地域との協働による河川の維持管理を推進するため、県・市町・地域の連携を強化し、「ふるさとの川」として守り育てる意識の醸成と河川愛護活動の活性化のための支援を行う。		

県民と協働して快適な滋賀の道路の維持管理を推進し、情報発信・情報交換の場を創出し、道路愛護活動等の活性化のための支援を行う。

19,040

(

6 多文化共生を目指す

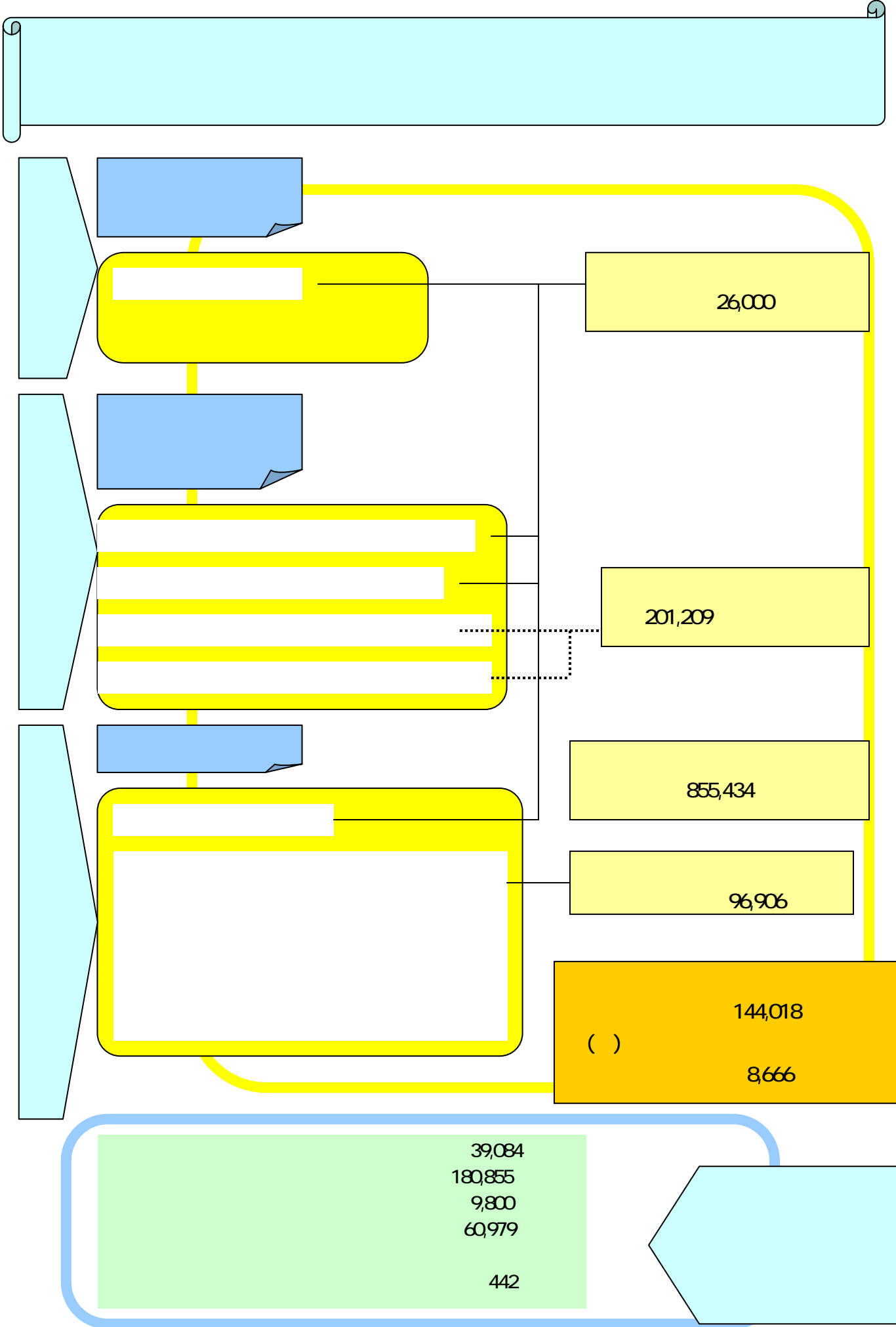
外国人と日本人が互いに理解を深めながら共に暮らしやすい社会を目指し、しが多文化共生推進会議や災害時ボランティアの養成講座等を実施する。

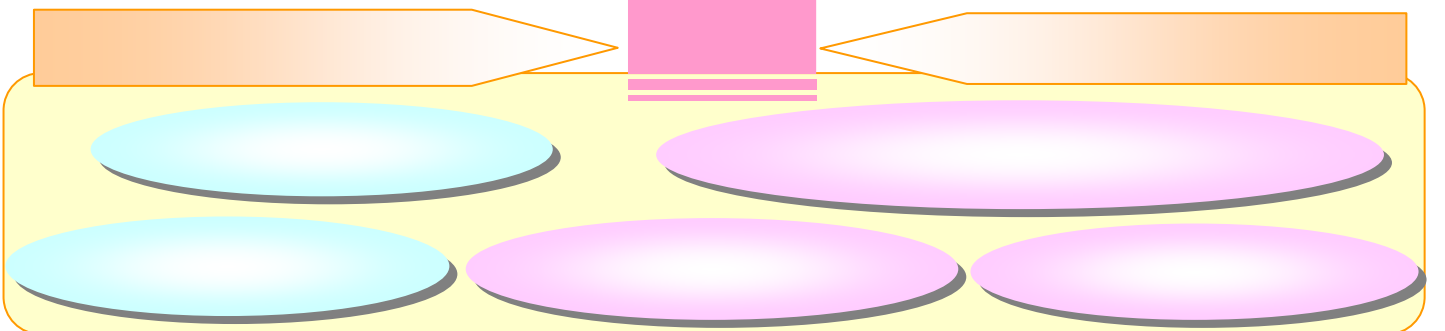
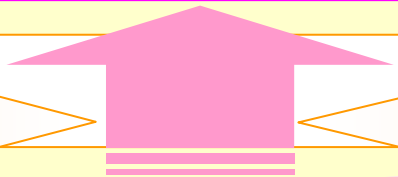
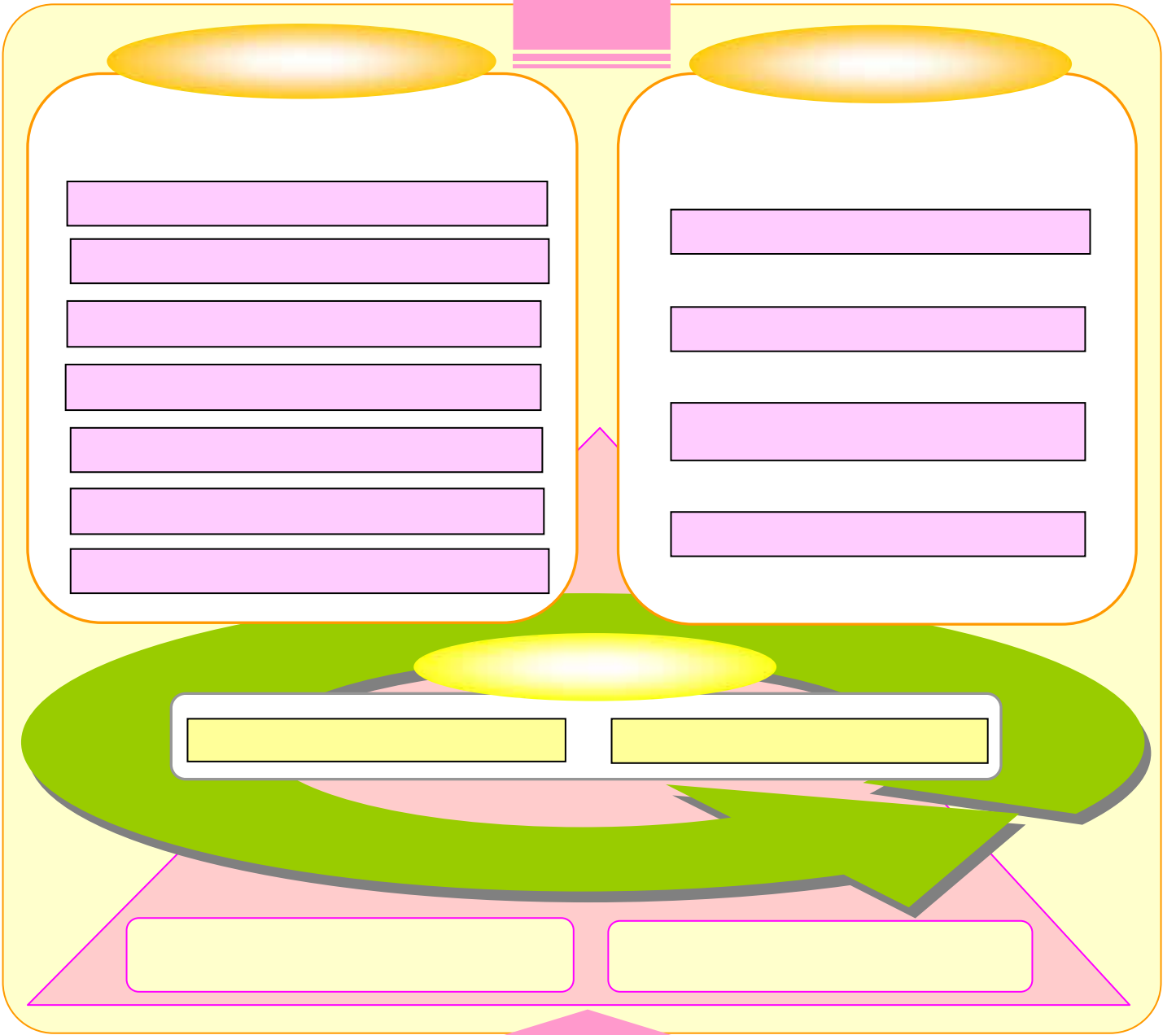
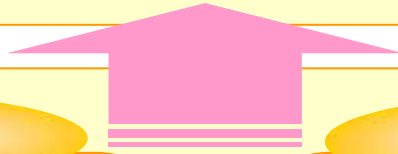
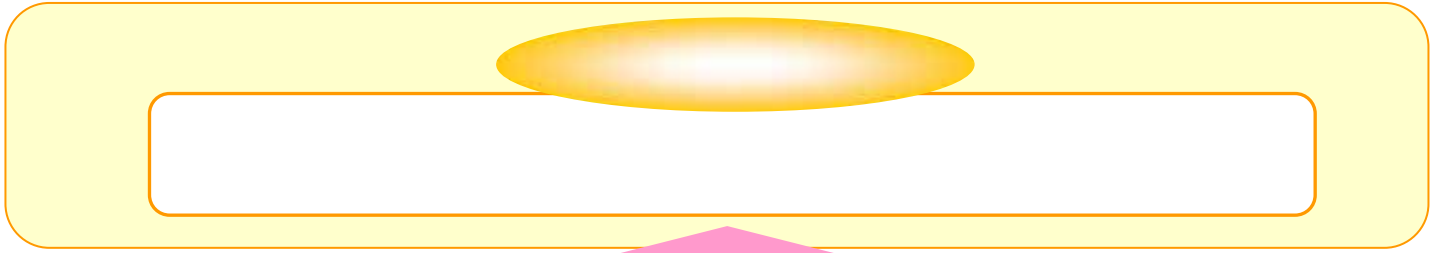
12,886

(

来日外国人少年の各種非行防止対策を充実させるため、通訳や翻訳等が可能な外国人などを少年補導サポーターとして委嘱する。

7,022





1 自然本来の力を保全し再生する

	99,000	(
自然的環境・景観保全の分野において、重要性が高く、取り組みが最優先されるべき湖辺域の再生事業として早崎内湖再生の実施計画を検討する。		
	27,474	
琵琶湖ルールの周知や取締の徹底により琵琶湖レジャー利用の適正化を一層推進する。		
	5,000	(
外来植物の侵入や観光客の集中利用により自然環境の劣化が懸念される伊吹山再生のための構想を策定するとともに、自然再生事業を実施する。		
	299,803	(
間伐を促進するためのマップの作成や調査、および針広混交林へ移行する環境林の整備を支援する。		
	43,178	
県民参加の里山づくりや地域の活動団体による森林づくりへの支援、および地域の人々が森林づくりのあり方を検討する組織作りと活動を支援する。		
	20,033	
	2,410	
総合的な獣害対策の推進を図るため、獣類の個体数管理、モニタリング、体制の整備、人づくりの推進に関する情報の共有等を実施する。 また、農作物の鳥獣被害対策を効果的に進めるため、獣害講座やマニュアルの作成を行う。		
	89,188	
有害外来魚ゼロ作戦やカワウによる漁業被害の防止対策を行う。		

2 自然を活用した産業を活性化させる

	234,056	
環境こだわり農業を本県農業のスタンダードとするため、栽培面積のさらなる拡大を推進する。		
	3,500	
新鮮、安全・安心野菜のニーズに対応し、県産野菜の年間供給システムを構築する。また、流通実態調査をもとに地場農産物の地域における流通・消費拡大の方策を検討する。		
<input type="checkbox"/>	1,736	(
木材の生産の強化と流通の拡大を目的に、本県にふさわしい生産流通システムを構築するための調査検討等を行う。		
	304,280	
減少傾向にある水産資源の回復を図るため、ヨシ帯の造成や砂地の造成・管理を行う。		

3 持続可能な社会を目指す

<input type="checkbox"/>	2,000	(
滋賀の経済界と滋賀県が共同で、環境成長経済の実現に向けた「新しい発展モデル」を構築し雇用創出と事業革新の牽引を目指した「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」を推進する。		

<input type="checkbox"/>	2 各家庭がインターネット上で環境に配慮した取り組み結果を入力し、その取り組みに対して参加企業から特典や割引が得られる仕組みを作り、家庭における二酸化炭素排出量の削減を促進する。	10,281	(
<input type="checkbox"/>	資源作物としての水稻栽培の可能性調査等を実施する。	1,000	(-1
<input type="checkbox"/>	温暖化に対応する高品質近江米のための栽培管理技術の確立や温暖化の影響に対応した水稻品種の育成等を行う。	13,615	(-4
<input type="checkbox"/>	琵琶湖水温の上昇が水産資源に与える影響を検証するためアユ、ホンモロコ、イサザ、ビワマスを対象に各種調査・試験を実施する。	6,600	(-5
		7,300		
<input type="checkbox"/>	鉄道やバス等の公共交通機関と自転車、徒歩等の組み合わせによる、人と環境に優しく、利便性が高い交通体系の構築を図るための取組を支援する。	400	(
		3,051,000	(
		89,502		
	R リサイクル製品認定や産業廃棄物減量化技術研究開発、民間事業者循環資源活用施設整備支援などにより産業3Rを推進する。			

4 自然の力を憩いや学びに活用する

	環境学習が効果的かつ適切に実施されるよう、情報の提供、交流の機会の提供、指導者等の育成、環境学習関連施設間の連携など必要な支援を行う。	12,443		
<input type="checkbox"/>	ラムサール条約COP10・滋賀県子ども環境特派員事業 韓国で開催される第10回ラムサール条約締約国会議(COP10)および韓国の登録湿地に滋賀県の子供達を派遣する。	3,918		
	野洲川南流の廃川敷地において、県民との協働による森づくりや水辺植生の復元を進めるため、県営都市公園「びわこ地球市民の森」の整備を図る。	284,122		
	都市と農村との交流を推進することにより、都市生活者の農業・農村に対する理解と参画を促進し、都市と共生する農業・農村の振興を図る。	4,977		

1 新規成長産業の創造や新たな事業活動への挑戦を支援する

県版経済振興特区推進事業費 2,678

経済振興特区の産業の集積・新規産業創出等を通じて県全体の経済振興を促進する。



3,400,000

(独)中小企業基盤整備機構の資金を活用したファンドの運用益によって、地域資源を活用して新事業に取り組む中小企業等に対する継続的な支援を行い、地域経済の活性化を図る。

滋賀県経済振興特区新事業創出事業 25,000

認定特区計画にもとづき実施する産学共同研究開発事業や販路開拓事業に必要な経費の一部を助成する。

11,532

びわこ南部エリアに進む医学・理工系大学の知的集積を活かし、医療分野における産学官連携基盤の充実強化を図るとともに、医工連携ものづくりプロジェクトの創出とその事業化を支援する。

9,873

産学官連携による新産業創出を推進するため、県リエゾン機能の強化充実をはかるとともに、産学官の出会いの場を開催し、産学官研究会を数多く形成する。

55,197

環境、健康福祉、バイオ、ITなどの今後成長が期待される産業の創出に資する研究開発から事業化までの計画を認定し、産学官連携等で実施される企業の研究開発に必要な経費の一部を助成する。

328,456

研究所や研究開発機能併設工場の設置経費に対して一部助成を行い、新製品や新技術を生み出す研究開発拠点の集積を促進する。



4,500

本県の優位性を活かした企業の集積や流通・物流の振興による地域活性化を図るため、企業の立地の可能性について調査・検討を行う。

2,613

産学官それぞれが主体性を発揮しながら連携し、総合的な産業振興等を展開するため、滋賀県産業振興推進会議を運営するとともに、産業振興新指針フォローアップ部会等において新指針に基づく取組状況等について、評価・検証を行う。

2 滋賀の特性を活かした産業を育成・支援する



3,157

環境分野における戦略的技術開発や製品開発を活発に取り組む環境産業クラスターを形成するため、中核的な機能の整備を検討するとともに、びわ湖環境ビジネスメッセに出展する県内企業を対象に環境負荷の少ないものづくり技術や製品の具体的な環境負荷低減度を評価する制度の検討を行う。



国際陶芸産業都市特区推進事業 6,000

「国際陶芸産業都市特区計画」の推進を図るため、甲賀市が実施する「信楽陶芸トリエンナーレ推進事業」や「海外販路開拓支援事業」に対して経費の支援を行う。



感性産業創出推進事業 1,703

本県に多数存在する地域資源を活かしながら、生活者の感性に働きかけ、共感や感動を得る商品・サービスの創出に向けた事業展開手法等の実践的な普及啓発の場として「感性ビジネス創造塾」を展開する。

<input type="checkbox"/>	感性価値創造支援事業	4,447
	消費者の共感や感動から生まれる新しい感性価値を有する商品の開発に向けた地域の取組に対し、プロデューサーによりコンセプト形成から事業化まで一貫した支援を行う。	
<input type="checkbox"/>		1,500
	県民等が「滋賀ならではの地域資源」を見直し、地域情報を含めた「滋賀の価値」の発信者となることを目的とする「びわ湖検定」の実施に対して支援する。	
<input type="checkbox"/>		8,500
	「源氏物語千年紀」を契機に、石山寺や延暦寺などを中心に、滋賀を代表するゆかりのある観光資源を全国に発信するため、観光キャンペーンや講演会を開催するとともに、大津・宇治源氏物語ルートバスの運行やラッピングトレイン事業など「源氏物語千年紀in湖都大津」実行委員会事業に支援し、本県への誘客を促進する。	
		33,465
	びわ湖・里山観光振興特区計画を推進するため、高島市等が実施するエコツーリズム等モデル事業や集客交流産業立地促進事業等を支援する。	
		18,000
	近江米振興協会において示された「売れる近江米づくり基本方針」に沿って、各関係機関が連携して、近江米の品質向上とブランド化に取り組む。	
		20,300
	総合的なマーケティング戦略を推進するとともに、農水産物のブランド育成や農業の新たなビジネス展開等を支援する。	
		20,000
	安全・安心で新鮮、高品質な園芸特産品目を安定供給するため、低コスト・省力化技術の導入、栽培施設の整備による生産拡大などを図り、園芸産地の育成を行うとともに、地産地消を積極的に進める。	
		10,953
	担い手育成総合支援協議会が行う各種支援の円滑な実施のため、地域農業担い手育成総合支援事業や集落営農経理支援体制整備事業を実施する。	
”	”	24,400
	肥育素牛の導入および飼育施設の整備に対して助成を行うとともに、「近江牛」ブランドの構築を支援する。	
<input type="checkbox"/>		36,107
	本県の地域イメージの構築や価値を高めるため、滋賀・琵琶湖のもつ本質的価値の再認識と内外への発信に向け、「(仮称)滋賀・琵琶湖ブランド」の構築に取り組む。また、滋賀の魅力を発信し、「ふるさと納税」制度における寄付金獲得へ向けた「滋賀ファン」「琵琶湖ファン」づくり、本県ブランド等の県外への積極的な発信を行う。	
		15,205,030
	環びわ湖放射状ネットワークに位置づけられた幹線道路など、県内の道路網を形成する主要な幹線道路の整備および幅員が狭く車両のすれ違いに支障がある箇所の解消を図る。	
		70,000
	高速道路の利便性向上のため、(仮称)湖東三山インター、(仮称)蒲生インターの整備を推進する。	

3 安全で美しいやすらぎのあるまちづくりを進める

<input type="checkbox"/>		22,325
	中心市街地や地元商店街の活性化にむけ、まちづくり計画の策定、地域特性を活かした商店街の魅力向上や地域のふれあい創出等の取組を支援する。	

県内の行政機関が防災・防犯情報等の地域の公共情報を、地上デジタルテレビ放送や携帯電話メール等により迅速に県民に知らせるため、共同して使用できる情報提供システムを構築する。	11,800	(
防災行政無線システムの一斉指令装置を更新し、機能強化ならびに老朽化対応することにより、同システムの信頼性向上と次世代の衛星通信への対応を可能なものとする。	73,000	
テレビという身近な情報媒体を活用し、地域で取り組む地震災害等の情報を発信することにより、地震災害等への備えが日常的なものとなるよう啓発を図る。併せて、子ども向けの制作放映も行い、DVDとして小学校へ配布する。	29,406	
平成19年10月から提供が開始された緊急地震速報を活用し、来庁者等の安全確保を図るため、県庁に受信端末を設置し、その情報を自動的に館内放送する。	2,040	
県土の景観形成をはかる啓発活動の一環として開催する、風景づくり県民会議を支援する。	340	
歩行者の安全確保のため、通学路を中心に歩道未設置箇所における歩道整備を推進する。	693,000	
近年、各地で発生している集中豪雨等による水害に対し、これまでの川の中を中心とする治水対策と合わせて、地域防災力向上などの「そなえる」対策を支援するために、市町が作成する洪水ハザードマップの調査事業に対する補助を行う。	16,000	
水害被害軽減に向けた多様な具体策の検討や、地域防災力の向上支援を行うとともに、市町や県民のみなさんと議論を進めながら「滋賀県流域治水基本方針」を策定する。	51,500	(
天井河川の解消や河積の拡大を行う等の河川整備を計画的に進めるとともに老朽護岸等の緊急的に対策が必要な河川の改修を行う。	4,498,040	
土砂災害のおそれのある危険箇所のうち、人家や公共施設などがある箇所の安全を確保するため緊急に対策が必要な箇所を優先して、砂防えん堤や急傾斜地崩壊防止施設の整備を行う。	4,431,038	
県下約4900箇所の土砂災害危険箇所を中心に、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等を指定するため、その前提となる基礎調査を推進するとともに、指定箇所について市町が作成する土砂災害ハザードマップ作成への支援を行う。	165,000	
緊急輸送道路上の橋梁や鉄道、高速道路と立体交差する橋梁について耐震対策を実施する。	302,000	
琵琶湖西岸断層帯地震等の大規模地震災害時において、琵琶湖の港を活用した湖上輸送ネットワークを構築し、避難者や緊急物資等の輸送を行うため、港湾施設の耐震補強を行う。	534,703	

	35,895	(
現行の耐震基準を満たさない恐れがある個人木造住宅について、耐震診断員を派遣する市町ならびに耐震改修を行う住民に補助する。		
	1,088,879	
県立学校施設の耐震化を推進する。		
	5,530,000	(
橋梁やトンネルなどの重要構造物をはじめ舗装などの道路施設について、アセットマネジメント手法を用いた計画的維持管理を実施する。		
	34,473	
ストックマネジメントシステムの構築により、施設情報を保全関係者が共有して管理の連携を図り、従来の「事後保全」から「予防保全」へとシフト転換を進め、県有施設の維持管理の適正化を図る。		
	7,200	(
琵琶湖西岸断層帯による地震被害が最も甚大と予想される地域を管轄する大津北警察署に活動拠点資機材としてエアータントを整備する。		
	172,400	(
地域との協働による河川の維持管理を推進するため、県・市町・地域の連携を強化し、「ふるさとの川」として守り育てる意識の醸成と河川愛護活動の活性化のための支援を行う。		
(19,040	(
県民と協働して快適な滋賀の道路の維持管理を推進し、情報発信・情報交換の場を創出し、道路愛護活動等の活性化のための支援を行う。		

4 文化・芸術が息づく魅力的なまちをつくる

<input type="checkbox"/>	子どもたちの文化芸術体験のサポートや文化ボランティアの育成等を行うため、「(仮称)しが子ども文化芸術推進委員会」に対して助成する。	9,800	(
<input type="checkbox"/>	琵琶湖・水に関わる歴史文化を調査により把握し、全国に発信できる資産として位置づけ、広く周知するとともに、活用事業の展開により地域資産としての価値の定着化を図る。	6,200	(
<input type="checkbox"/>	(地域の特色ある伝統行事や生活文化を映像により発信することで、魅力的なまちづくりを推進するため、(仮称)eーまち映像づくり連携協議会が実施する住民ディレクター養成講座等の活動への助成を行う。	4,000	(
<input type="checkbox"/>	歴史的文書の有効活用を図るため、(仮称)県政史料室を設置する。	5,533	(
		39,621	
<input type="checkbox"/>	専門的な美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既成の美術概念の影響を受けていない芸術作品である「アール・ブリュット」の代表的な作品による展覧会を県立近代美術館で開催する。		(
<input type="checkbox"/>	全ての障害者の芸術および文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加への促進に寄与するために実施する本大会開催に要する経費を助成する。	36,000	